

7 リンドウ早出し栽培の保温開始時期（園試南部分場）

(1) 背景

本県でのリンドウ栽培は、現在8～9月出荷の露地栽培が中心であるが、今後安定した産地として伸びていくためには、より長期間安定して供給できるような技術が必要である。

近年は本県でも、労働配分や早出し物の高値等からハウスを使っての早出し栽培が試みられつつあるが、リンドウの株には、休眠があるために早く保温を開始しても必ずしも開花が早まらない現象があるので、休眠の打破される時期を検討した結果、明らかに開花促進効果が認められ作期も拡大された。したがってリンドウの早出しによる市場有利性を高める促成栽培の技術を普及するため指導上の参考とする。

(2) 技術の内容

1) 保温開始時期

1月上旬以降の保温開始が安全である。

2) 開花の調節

保温開始時を変えることによって、無加温ハウスで6月上旬から自然開花の前まで（7月上旬）長期間開花させることができる。

3) 適応地域

県内全域

(3) 指導上の留意点

1) 品種は吾妻系、北海道系等の早生種を使用する。

2) 予定地はあらかじめ、ハウスの大きさを考慮して高畦定植とする。

3) 使用する株は、定植1年以上経過した充実した株を使用し、圃場から掘上げた株等は生育が著しく劣るので使用しない。

4) 倒伏防止用のネット支柱は、発芽前に張っておき、生育に応じて引上げる。

5) 特に1～3月の低温期は、日没前に、内部保温用の透明ビニールやシルバーポリトール等を早めに被覆し、夜間の保温につとめ翌朝は、日の出と共にシルバーは除去し、温度の早期上昇につとめる。

6) 日中は、25℃を越さないように常に注意して管理する。

7) 花蕾の着色開始期頃からは、夜間10℃以上の場合は昼夜ハウスを開放し、できるだけ低温で管理する。

(4) 試験成績の概要

1) 試験課題名 半促成リンドウの保温開始時期試験

2) 試験年次及び栽培場所 昭和51～53年 岩手園試南部分場

3) 試験方法

① 供試条件

保温開始 50年11月5日より51年2月25日まで約10日おきに12回。
52年12月6日より53年3月21日まで約15日おきに8回。

② 供試品種 吾妻系(A区系)実生3年株。

③ 耕種概要

- i 栽培場所 51年……無加温ガラス室内にビニール+シルバーのトンネル被覆。
53年……無加温ビニールハウス内にビニール+シルバーのトンネル被覆。
- ii 栽植距離 51年……21cmポリ鉢, 1株植。
53年……24cm " , " 。
- iii 保温開始までの管理: 24cmポリ鉢植として露地(自然)で栽培。

4) 試験結果

① 開花日

平均開花日は, 2カ年共に1月上旬から保温を開始した区が, 最も早く, それよりも早くに開始した区も, 遅れて開始した区も開花は遅れた。開花期間は, 2カ年共に早くから保温開始した区は長く要した。しかし, 1月上旬以降になるとほとんどその差は認められなかった。

到花日数(保温開始から開花までの日数)は, 早く保温開始したもの程長く, 遅く開花したもの程短かった。

② 切花品質

2カ年共に草丈, 葉数, 花段数, 切花重等は, 保温開始時期による明らかな差は認められなかった。

③ 気温

試験した两年の保温開始前気温は, 共に平年より暖かい気温であった。

以上の点から沿岸南部での保温開始時期は, 平年よりやや暖かい年でも1月上旬以降では, 安全であるので平年では十分と考えられる。

5) 主要成果の具体的データ

第1表 開花時の性状と開花日

年 度	項 目 試 験 区	草丈	花段数	切花重	節数	花数	開花始	開花終	開花	平 均	到花	保温開始 までの 低温経過 時間
		(cm)	(段)	(g)	(節)	(コ)	月:日	月:日	期間	開花日 月:日	日数	
51 年	① 11月 5日	56.4	2.8	22.7	17.8	10.0	6 : 4	7 : 13	40	6 : 23	229	33
	② 11月 15日	60.3	4.1	25.0	18.0	11.0	6 : 4	7 : 11	38	6 : 22	218	52
	③ 11月 25日	64.9	2.8	25.2	19.3	10.2	6 : 1	7 : 11	32	6 : 15	201	113
	④ 12月 5日	63.3	3.0	22.3	19.4	10.0	6 : 1	7 : 1	31	6 : 14	190	212
	⑤ 12月 15日	57.2	2.6	19.4	18.6	11.2	6 : 1	7 : 5	34	6 : 18	184	367
	⑥ 12月 25日	53.0	3.4	16.0	18.6	9.8	5 : 31	7 : 4	33	6 : 12	168	543
	⑦ 1月 5日	53.0	2.8	17.3	16.3	8.5	6 : 2	6 : 25	24	6 : 12	157	746
	⑧ 1月 15日	54.8	2.8	20.8	19.3	11.0	6 : 5	6 : 29	26	6 : 19	154	967
	⑨ 1月 25日	58.8	3.2	23.2	17.8	9.8	6 : 4	6 : 29	26	6 : 18	143	1,192
	⑩ 2月 5日	63.3	3.0	28.1	16.4	9.5	6 : 4	6 : 28	25	6 : 18	133	—
	⑪ 2月 15日	52.1	2.9	22.3	18.4	8.4	6 : 13	7 : 7	25	6 : 26	131	—
	⑫ 2月 25日	56.2	3.8	23.4	18.8	11.4	6 : 18	7 : 12	25	6 : 29	124	—
53 年	① 12月 6日	58.2	3.2	19.5	24.1		6 : 10	7 : 1	22	6 : 18	193	253
	② 12月 21日	63.6	3.6	26.4	24.2		6 : 3	6 : 22	20	6 : 13	173	489
	③ 1月 6日	62.3	4.1	26.4	23.3		5 : 31	6 : 13	14	6 : 7	151	820
	④ 1月 21日	58.0	4.9	25.4	21.5		6 : 7	6 : 22	16	6 : 13	142	1,165
	⑤ 2月 6日	53.8	3.3	23.0	21.1		6 : 7	6 : 24	18	6 : 15	128	1,548
	⑥ 2月 21日	50.0	2.9	21.4	20.9		6 : 16	7 : 6	18	6 : 24	122	1,908
	⑦ 3月 6日	55.0	3.0	24.4	20.8		6 : 24	7 : 6	13	7 : 1	116	2,196
	⑧ 3月 21日	54.2	3.5	24.7	21.6		7 : 6	7 : 20	15	7 : 11	111	2,510
	⑨ 自 然	48.4	3.7	23.2	22.0		7 : 29	8 : 10	13	8 : 7	—	—

(注) 1 到花日数とは、入室から平均開花日までの日数。

2 保温開始までの低温経過時間とは、5℃以下の時間

(5) 残された問題

低温とジベレリン組合せによる保温開始時期の検討。